

# 虹の橋

天国の一角に「虹の橋」と呼ばれるところがあります。  
この世で誰かに愛されていた動物たちは、死ぬとそこに行くのです。  
そこでは動物たちのための小高い丘や草原があって、  
仲間と一緒に駆け回ったり、遊んだりできるのです。

お日さまはキラキラ輝いていて、たくさんの食べ物やたっぷりの水に恵まれ  
動物たちはそこでポカポカと心地よく暮らしています。  
病気だった子も 年老いていた子も、また元気いっぱいに  
傷を負った子も 身体が不自由だった子もすっかりもと通りに  
それはまるで過ぎた日々の夢のようになれるのです。  
そこでは動物たちは満ちたりていて幸せです。  
たった一つのことを除いては・・・。  
たった一つ・・・それはこの世に残してきた大切な人が  
ここにはいなくて寂しいということ。

動物たちは今日も仲良く、遊んだり、駆け回っています。  
しかし、神に定められたその日が来ると、  
あなたのペットはふと立ち止まり、遠くを見つめます。  
その瞳はみるみる輝きだし、喜びで全身が震えています。  
突然仲間たちから離れて、飛ぶように草の上を駆け出でましょう。  
速く、とても速く！  
そこにはあなたがいたからです。  
あなたとペットはとうとう再会し、固く抱きしめあい、  
もう二度と離れることはありません。  
ペットはあなたの顔をペロペロとなめ、あなたは再び愛くるしい頭をなで、  
その信頼に満ちた瞳を覗き込むのです。  
あなたの人生から長いこと失われていた、けれども決して忘れることのなかった  
その瞳を。

そしてそれから、一緒に「虹の橋」を渡っていくのです。

私たちはその日が来るまで ここでしっかりと生活をし、  
再びペットに会える日まで  
喜びも悲しみも受け入れて  
いろんなことを乗り越えていかなければなりません。

いつか逢えるその日まで